

景気ウォッチャー調査・平成 19 年 7 月調査における 新潟県中越沖地震関連のコメントについて

平成 19 年 8 月

内閣府政策統括官（経済財政分析担当）

< ポイント >

「景気ウォッチャー調査」の平成 19 年 7 月調査（調査期間：7 月 25 日～同 31 日、回答者数：1,793 人）では、景気の現状判断について 39 人（回答者の 2.2%）、景気の先行き判断について 25 人（同 1.4%）の景気ウォッチャーが新潟県中越沖地震（平成 19 年 7 月 16 日発生）に関するコメントを寄せた。

なお、平成 16 年 10 月調査（調査期間：10 月 25 日～同 31 日）において、新潟県中越沖地震（平成 16 年 10 月 23 日発生）に関するコメントを寄せた景気ウォッチャーは、景気の現状判断について 77 人（回答者の 4.3%）、景気の先行き判断について 123 人（同 6.9%）であった。

景気の現状判断では、震災地の含まれる東北¹、近隣の北陸で、購買意欲の低下や、来客数・宿泊客の減少などの影響に関するコメントがみられた。また、近隣以外の地域でも、購買意欲の低下や自動車の生産遅れに関するコメントもみられたが、全体的な影響は今のところ限定的である。

景気の先行き判断では、主に東北や北陸で、購買意欲への影響を懸念するコメント、観光などへの風評被害を懸念するコメントがみられた。また、復興需要を指摘するコメントもあった。

< 集計結果及び主なコメント >

1. 景気の実況判断

全回答者 1,793 人中、39 人（2.2%）の景気ウォッチャーが新潟県中越沖地震についてコメントした。平成 16 年 10 月調査の新潟県中越沖地震についてコメントした景気ウォッチャーの割合（4.3%）と比較すると、少なくなっている。

なお、新潟県中越沖地震についてコメントしたウォッチャーの現状判断 D I を機械的に集計すると 31.4 となり、全ウォッチャーの D I（44.7）を 13.3 ポイント下回る（新潟県中越沖地震の影響に関する評価と景気の判断とは必ずしも一致しないことに注意）。

各地域におけるコメント

コメント数自体は東北が最も多く、次いで北陸、東海となった。回答者数に占める比率をみると、北陸が最も高く、次いで東北、東海となった。なお、北海道、中国、四国、沖縄からは関連コメントは寄せられなかった。

¹ 新潟県は内閣府経済財政分析担当の地域区分によると、地域区分 A となり、東北地域。

東北や北陸では、消費者の購買意欲の低下や、来客数・宿泊客の減少などの影響に関するコメントがみられ、地震の影響が顕在化していることがうかがえる。一方、近隣以外の地域においても、購買意欲の低下や、自動車の生産遅れに伴って、自動車の売行きに影響が出たなどのコメントがみられた。

以上をまとめると、全体的な影響は今のところ限定的であるとみることができる。

(家計動向関連)

- : 中越沖地震後、1週間は客足が遠のいた感がある(南関東=一般レストラン(経営者))。
- : 中越沖地震の惨状がテレビで放映されるため、住宅建築を検討中の客の決断が先送りになるケースがみられ、各社とも販売に苦戦している(北陸=住宅販売会社(従業員))。
- : 来客数は例年に比べると少ない。中越沖地震の影響で車の生産が遅れていることも、来客数の減少に影響している。ボーナス時期であるが、空振りである(東海=乗用車販売店(従業員))。
- : ボーナス月で期待していたものの、来客数、販売量共に落ち込んでいる。月初めから雨が続いたことで客の出足が鈍ったほか、月中旬の中越沖地震の影響が大きく、買物をする雰囲気になりにくい状況である(近畿=一般小売店(時計))。
- ×: 中越沖地震は、部品の供給遅れによる売上減少や購買意欲の低下など、車販売への直接的な影響がある。さらに、震災被害に加え、夏場需要のキャンセルやイベントの自粛ムードなどが風評被害として景気に深刻な影響を与えている(東北=乗用車販売店(経営者))。
- ×: 7月16日に発生した中越沖地震による宿泊、宴会のキャンセルが相次ぎ、海水浴シーズンを控え、かなりのダメージを受けている(東北=都市型ホテル(スタッフ))。

(企業動向関連)

- : 受注量は、3か月前とほとんど変わっていない。中越沖地震の影響により、納期の遅れは多少あったが、その分は取り返している(東海=輸送用機械器具製造業(総務経理担当))。
- : 取引先での秋物商材の催事では、売上が前年比で20%減となっている。それに加えて中越沖地震の影響も出始めており、3年前のように回復には時間が掛かる(近畿=繊維業(経営者))。

2. 景気の先行き判断

25人(全回答者の1.4%)の景気ウォッチャーが新潟県中越沖地震についてコメントした(平成16年10月の新潟県中越地震についてコメントした景気ウォッチャーは

6.9%)。

なお、新潟県中越沖地震についてコメントしたウォッチャーの先行き判断D Iを機械的に集計すると40.0となり、全ウォッチャーのD I (46.7)を6.7ポイント下回る。

各地域におけるコメント

中国と沖縄を除く全地域から、コメントが寄せられた。コメント数は東北が最も多く、次いで北陸、北関東、回答者数に占める比率では北陸が最も高く、次いで東北となった。

主に東北や北陸で、購買意欲への影響を懸念するコメント、観光などへの風評被害を懸念するコメントがみられた。また、復興需要を指摘するコメントもあった。

現状よりも先行きのほうがコメント数は少なく、地震発生から回答期間まで10日程度あったことから、先行きの影響をある程度見通すことが出来たことを示唆していると考えられる。

(家計動向関連)

- : 中越沖地震の震災による最悪な状況からは、少なからず良くなる。3年前の新潟県中越地震のときもそうだったが、すぐには景気に反映されないまでも、3ヶ月先以降には復興需要が見込まれる。なお、同じく3年前の水害の時は、直後の復興需要が大きかった(東北=乗用車販売店(経営者))
- : 中越沖地震の影響は、当初は特需による消費上昇もあるが、その後に不安が残る(東北=スーパー(経営者))
- : 夏休みの人出を期待したいが、中越沖地震の後遺症、今後の気象条件に左右されそうである(北関東=商店街(代表者))
- : 中越沖地震による風評被害は3年前と同じく、回復するまでには相当な時間を要する。会社の体力も心配である(東北=都市型ホテル(スタッフ))
- : 能登半島地震の風評被害の影響は徐々に落ち着いてくると思われる。しかし、中越沖地震を含めた地域全体の風評被害は年内いっぱい残り、来客数は前年比約1割の減少と予想される(北陸=テーマパーク(職員))

(企業動向関連)

- : 中越沖地震による震災や台風被害の復興作業が続く。現在も生産が追いつかないほどの状態である(東北=土石製品製造販売(従業員))

平成19年新潟県中越沖地震に関連するコメント(2007年7月調査)

現状判断D I

地域名	全国
回答者数(A)	1,793
総コメント数(B)	1,238

調査客体は2,050人
現状判断にコメントした人の総数

	×					合計	関連D I
家計動向関連	0	1	12	13	6	32	31.3
小売り関連	0	0	5	9	3	17	27.9
飲食関連	0	0	3	0	0	3	50.0
サービス関連	0	1	3	3	3	10	30.0
住宅関連	0	0	1	1	0	2	37.5
企業動向関連	0	1	1	4	1	7	32.1
製造業	0	1	1	2	1	5	35.0
非製造業	0	0	0	2	0	2	25.0
雇用関連	0	0	0	0	0	0	-
合計	0	2	13	17	7	39	31.4

関連D I	31.4
Aに対する割合	2.2%
Bに対する割合	3.2%

先行き判断D I

総コメント数(C)	1,369
-----------	-------

先行き判断にコメントした人の総数

	×					合計	関連D I
家計動向関連	0	2	8	11	0	21	39.3
小売り関連	0	2	5	6	0	13	42.3
飲食関連	0	0	0	1	0	1	-
サービス関連	0	0	1	3	0	4	31.3
住宅関連	0	0	2	1	0	3	41.7
企業動向関連	0	1	1	0	0	2	62.5
製造業	0	1	0	0	0	1	75.0
非製造業	0	0	1	0	0	1	50.0
雇用関連	0	0	0	2	0	2	25.0
合計	0	3	9	13	0	25	40.0

関連D I	40.0
Aに対する割合	1.4%
Cに対する割合	1.8%

【参考】

平成16年新潟県中越地震時のコメント数との比較(2004年10月調査)

現状判断D I

回答者数(A)	1,786
総コメント数(B)	1,287
地震関連コメント	77

関連D I	35.1
Aに対する割合	4.3%
Bに対する割合	6.0%

先行き判断D I

総コメント数(C)	1,411
地震関連コメント	123

関連D I	35.8
Aに対する割合	6.9%
Cに対する割合	8.7%

2007年7月調査

新潟県中越沖地震コメント集計表

現状	回答者数 (a)	総コメント数 (b)	関連コメント数(c)					×	関連D I	(c)/(a)	(c)/(b)
北海道	111	66	0						-	0.0%	0.0%
東北	210	149	13	1	3	5	4		26.9	6.2%	8.7%
北関東	163	96	4	1	1	1	1		37.5	2.5%	4.2%
南関東	273	173	1		1				50.0	0.4%	0.6%
東海	225	163	6		2	3	1		29.2	2.7%	3.7%
北陸	99	71	8		4	3	1		34.4	8.1%	11.3%
近畿	237	155	5		2	3			35.0	2.1%	3.2%
中国	170	155	0						-	0.0%	0.0%
四国	91	61	0						-	0.0%	0.0%
九州	180	120	2				2		25.0	1.1%	1.7%
沖縄	34	23	0						-	0.0%	0.0%
全国	1,793	1,232	39	0	2	13	17	7	31.4	2.2%	3.2%

先行き	回答者数 (a)	総コメント数 (b)	関連コメント数(c)					×	関連D I	(c)/(a)	(c)/(b)
北海道	111	73	2		1	1			37.5	1.8%	2.7%
東北	210	159	7	2	2	3			46.4	3.3%	4.4%
北関東	163	116	3		2	1			41.7	1.8%	2.6%
南関東	273	200	2			2			25.0	0.7%	1.0%
東海	225	180	2		1	1			37.5	0.9%	1.1%
北陸	99	82	5		1	4			30.0	5.1%	6.1%
近畿	237	176	1		1				50.0	0.4%	0.6%
中国	170	155	0						-	0.0%	0.0%
四国	91	71	1	1					75.0	1.1%	1.4%
九州	180	131	2		1	1			37.5	1.1%	1.5%
沖縄	34	26	0						-	0.0%	0.0%
全国	1,793	1,369	25	0	3	9	13	0	40.0	1.4%	1.8%